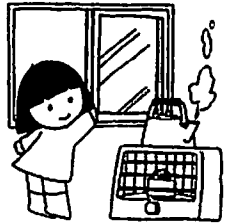


冬やめ

風邪

インフルエンザにご注意!

節分・立春が過ぎました。



寒河江市内では、

かぜ・インフルエンザの集団発生により学級閉鎖、学年閉鎖の学校もでています。その他に、感染性胃腸炎(吐き気、嘔吐、下痢を伴うお腹のかぜ)溶連菌感染症、水痘(幼児に多くでています)なども流行しています。

* 本校の欠席状況

2月2日(金)	インフルエンザ	1名(1年)	風邪	3名
2月5日(月)	インフルエンザ	2名(3年)	風邪	15名
2月6日(火)	インフルエンザ	3名(3年)	風邪	15名
2月7日(水)	インフルエンザ	4名(3年)	風邪	12名

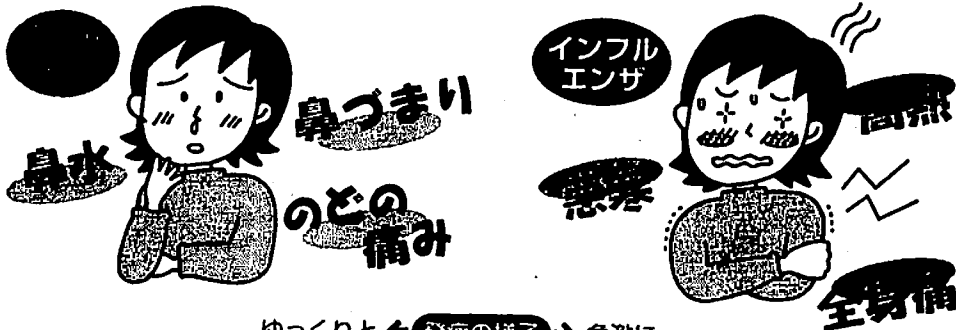
今週に入り、欠席がぐんと増えています。「インフルエンザ」も、ご注意ください。

油断することなく、予防に努めてくださるようお願いいたします。

かぜとインフルエンザの違いは?

普通のかぜは、鼻水・鼻づまり、のどの痛み、せきやくしゃみなどが中心で、熱はそれほど高くなく、重症化することもほとんどありません。

一方、インフルエンザは、高い熱が出て、関節痛や筋肉痛などの全身症状が強くあらわれます。のどの痛みや鼻水などもみられ、さらには肺炎などを併発して、重症化するおそれもあります。感染力が強く、短期間で大流行するのインフルエンザの特徴です。



- ① うがいと手洗いをこまめに行う
- ② 室内の換気と加湿
- ③ 睡眠を十分にとる
- ④ マスクをかける
- ⑤ 人混みの中に出かけない
= 特に休日は注意して下さい =



—おうちの方へ—

○朝、お子さんの健康状態をよくみてくださるようお願いいたします。
○セキがでる時は、マスクをつけさせて下さい。

ゆっくりと	← 発病の様子 →	急激に
鼻水・鼻づまり・のどの痛み	← 主な症状 →	発熱・全身痛(筋肉痛・関節痛等)
あっても37度台	← 熱 →	38~40度の高熱
軽い	← 悪寒 →	強い
軽い	← 倦怠感 →	強い
ライノウイルス、コロナウイルス等	← 病原 →	インフルエンザウイルス
徐々に感染が広がる	← 流行 →	短期間に多くの人が感染する
ほとんどない	← 合併症 →	肺炎や脳症等